

埼玉自動車大学校版

〒362-0806
北足立郡伊奈町
小室1123番地
048(723)5522

東京オートサロン 2018 出展



優勝 選手権カーカスタム対抗校 東京テレビ

ンパーを加工し、ボンネットはラシボルギーニウラカンのエンジンフードを移植、サイドミラーをミラレレスにし、カメラを装備させることで学生独自の遊び心を再現する事が出来た。室内では、フロントシートは純正シートを張り替え、リアシートは縞鋼板加工しオリジナルシートを作成、リアハッチ内にはジェットエンジン風ウーハーBOXを装備することでより戦闘機を意識させる事が出来た。ボディペイントは本体を艶消しのシルバーに塗装し、エアブラシ塗装を施すことでよりコンセプトに近づけた。

東京オートサロン2018が幕張メッセ国際展示場が12月12日から3日間開催され、本校のカスタムボディ科が製作した「WiLL式 戦闘機」を出展した。毎年、このオートサロンにカスタムカーを出展しているため、近年では本校のブースを楽しみに来場する方もいるくらい知名度が上がっている。

今回は3日間で約32万人の来場者があり、会場内は歩くのも苦労するほどの混雑だった。今年製作した「WiLL式 戦闘機」は戦闘機をコンセプトにトヨタWiLL V Sをベースに、前後パ

谷口信輝選手 特別講話

本校特別講師のレーシングドライバー谷口信輝選手による特別講話を12月21日、記念館にて実施した。谷口選手は2017年、国内内最高峰のレースであるスーパーGT、GT300クラスに出場しシリーズチャンピオンを獲得している。講演ではレースの現場を撮影した写真を基に、シリアルズチャンピオンに輝いた今年のレースの話や、レーシングドライバーならではの臨場感あふれる話を聞くことができ、講話を聞いていた学生達も楽しんでいて様子だった。

講話の最後は谷口選手から「よくレースは個人競技だと思われているが、実は



ビジネスアリーナ出展

「彩の国ビジネスアリーナ2018」が1月24日から2日間にわたり、さいたまスーパーアリーナにて開催され、本校から学生作品を出展した。全国最大級のビジネスショーであるこの会場では、製品加工技術、ITソリューション、環境などは、製品加工技術、ITソリューション、環境など



カスタムカー以外に、一級自動車整備科、自動車車体整備科の学生により製作された「日産ノートeパワールーフカットモデル」も展示した。最新モデルのカットということもあり、来場者だけでなく出展している各メーカー関係者も足

親交会 新春懇親会開催

親交会の新春懇親会が1月19日、アートグレイス・ウェディングチャトー大宮璃宮にて開催され、職員を含め総勢112名が参加した。はじめに菊地孝司校長が「学校では先日始業式が行われ、学生全員が元気な姿で登校してきました。また、昨年は学生の活躍が例年よりも多くあり、部活動では軟式野球部、テニス部、バドミントン部が全国大会出場を果たし、モータースポーツ科も一年を通して北海道から大分までの全国のレース場で活躍することで本校の名前を全国にPRできました」と話し、続いて有地優美子親交会会長から、「東京オートサロンでの活躍や様々な学校行事等で保護者も一緒に参加できるものが有り、今後もこのようなイベントを共に盛り上げていきたい。国家試験受験学年に関しては、日頃の学校での熱心な指導に感謝しつつ、家庭としては子



供の心と体の健康管理を心掛け、温かくフォローしていきましょう」と、挨拶があった。

会長の挨拶後、モータースポーツ科黒田和幸先生と軟式野球部清水伸悟先生より昨年の成績についての報告があり、その後、柏原美穂代副会長の乾杯で懇親会がスタートした。

毎年恒例となっている福引では、デイズニールゾートベアケットや、A5ランクの松坂牛のすき焼用肉、高級イチゴなどを用意し、会を大いに盛り上げた。各テーブルでは担任を交え、日頃の学生の様子や就職活動、国家試験対策などが話し合われ、保護者と担任がお互いに情報交換する良い機会となった。

の分野に分かれており、本校は次世代自動車分野に招待された。本年度製作した日産ノートe Powerのハイフカットモデルと共に日野のディーゼルエンジン、マツダのスカイアクティブディーゼルエンジン、ロータリーエンジンのカットモデルを展示。最新技術の動きと電気の流れがわかりやすいと、多くの来場者が足を止めた。自動車産業以外の注目も高く、質問に対応する姿もしばしば見受けられた。一級の3・4年生、モータースポーツ科の学生も見学し、様々な分野の最新技術を学ぶことができた。

